

市民公園整備事業
8950万円で土地購入

【部長(答弁) 抜粋】

■佐賀県では、産業技術総合研究所から返却された土地について、サガン鳥栖U-15グラウンド用地として整備する方向性が示されましたが、県有地のみでは不足することから、隣接する市民公園用地の活用して、一緒に事業に取り組んでほしい旨の協力依頼がございました。

整備計画策定にあたって、都市公園法上市民公園の面積を減らすこと

ができないこと、また市民公園に憩いや遊びのスペースが不足する課題がございました。

そのためグラウンド整備に係る市民公園用地3036平米と市民文化会館に西側県有地2577平米を令和7年3月に交換し、残りの県有地2567平米を8950万円で購入予定としています。令和7年6月時点の1平米あたりの単価は6970円でございます。

当該土地については、芝生広場及び遊具広場として整備することを計画に示したところでございます。

令和7年6月定例会

補正額12億1900万円
補正後予算額348億9595万円

【主な歳出】

50戸連たん区域指定事業 460万円
田代大官町・萱方線等道路改良事業 4338万円
国土交通省・今町線道路改良事業 2690万円
都市公園遊具等改修事業 8070万円
中央公園整備事業 1651万円
市民公園整備事業 8950万円※1
山浦PAスマートIC(仮称)調査検証事業 1500万円
予約型乗合タクシー実証運行事業 954円※2
消防団の力向上モデル事業 499万円
小中学校校舎躯体調査事業 260万円
小中学校屋内運動場空調設備設置検討事業 359万円
小中学校校舎外壁改修事業 4545万円
若葉小学校築山撤去等事業 2500万円
スタジアム夜間照明施設改修事業 4億5001万円

より良い鳥栖に
わくわく宣言



発行者：
西依義規
〒841-0005
鳥栖市弥生が丘
2-110-1
TEL090-1874-2107
e-mail:
waku2sg@gmail.com

予約型乗合タクシー実証運行事業 954万2千円

令和7年11月から令和8年3月までの5か月間

【西依(質問)】
■1回あたりの運賃と1台あたり1日何人の乗車を想定されているのか。

【課長(答弁)】
■予算の計上といったしまして、1回あたりの運賃を400円に設定し、1台あたりの1日の乗車人数については、ミニバスの1日1台当たり利用者実績を参考に6人を想定しております。

【西依(質問)】
■公共交通利用が不便な地域とはどこか、利用地域が限定されるのか。

【課長(答弁)】
■公共交通利用が不便な地域は、「鉄道駅から半径500mまたはバス停から半径300mを超える区域」を交通不便地域としております。具体的には、若葉地区、基里地区、旭地区、麓地区などの一部が交通不便地域となっております。また、今回の実証運行の利用地域につきましては、交通不便地域などの限定は行わず、市内全域を予定しております。

【西依(質問)】
■事前予約の期限はいつまでか。

【課長(答弁)】
■「利用日の1週間前から、利用時刻



の30分前まで」を予定しておりますが、今回の運行内容等の検討の中で、他市の事例や利便性などを踏まえた上で決めてまいりたいと考えております。なお、電話予約の受付時間は「午前9時から午後5時まで」、インターネットによる受付時間は「24時間受付可能」を予定しております。

【西依(質問)】
■乗降地点はどこまで選べるのか。

【課長(答弁)】
■予約型乗合タクシーは、市内を北部エリアと南部エリアに分けた上で、ミニバスを運行しない日、具体的には、北部エリアを月・水・金曜日、南部エリアを火・木・土曜日で運行を予定しており、乗降場所は、自宅等と事前に乗降場所として指定した市内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関、交通結節点などを予定しております。

鳥栖をもっと暮らしやすく、子育てしやすく、働きやすく、変化は小さな一歩から。あなたの声が、まちを動かします。

【自己紹介】

■こんにちは、鳥栖市議会議員の西依よしきです。私は、昭和46年生まれで、8月で54歳になります。田代小、田代中、鳥栖高校、西南学院大学商学部を卒業し、現在、弥生が丘地区に住んでいます。妻と子ども、そして地域の皆さんに支えられて、議員活動(現在3期12年目)を行ってきました。趣味はウォーキングと歴史めぐりです。

これまでの主な地域での活動としては、29歳で鳥栖青年会議所に入会し、中心市街地活性化や青少年育成、鳥栖三養基地区の市町村合併問題、九州地区での道州制の研究、市長選



ローカルミニフェスト型公開討論会、久留米・小郡市などクロスロード地域を巻き込んだサガン鳥栖支援など、まちの課題解決や様々なまちづくり運動に携わってきました。

また弥生が丘小や田代中学校でのPTA活動、消防団員として15年、民生委員児童委員、鳥栖市・田代地区の子ども会、弥生が丘東区での青少年育成組織や体育部など、基本的に頼まれたことは断らないスタンスで地域活動を行ってきました。

【市議を目指したきっかけ】

市議を目指したきっかけは、青年会議所で行ったローカルミニフェスト型公開討論会の時に言われた「どうせそんなことしても、なんも変わらないやろう。」という言葉でした。

こうした市民の方のあきらめ感とも言える声を聞いて、「自分が生まれ育った鳥栖市を少しでも良くしたい、変えたい」そう思ったのが最初です。

こうした原因は、早い段階や幅広い世代に情報発信ができていない、何か決める過程や重要なプロジェクトへの住民参加がないなどにあると思います。

【市議としての活動とこれから】
そのために市議として、「市民に伝えること、市民の声を聴くこと」を一番大事にしています。

私はこれまで、子ども・子育て支援、駅周辺や中心市街地の活性化、公園スポーツ施設の充実、市内の渋滞対策などに取り組んできました。

(過去4年の主な一般質問テーマ)

- 鳥栖市から考える少子化対策
- 民生委員・児童委員の負担軽減
- こどもまんなか社会
- 子育て家族を応援
- 子育て環境と公園整備
- 道路整備で渋滞の解消
- ミニバス・市内路線バスの充実
- 鳥栖駅周辺整備の再スタート
- 新鳥栖駅周辺の土地利用
- スタジアムの管理運営活用
- プロスポーツチームの支援
- 勝尾城筑紫氏遺跡の整備
- 本ごう川防災調整池の活用
- スタディールムの設置

これからの想いは、鳥栖をもっと暮らしやすく、子育てしやすく、働きやすく、変化は小さな一歩から。あなたの声が、まちを動かします。これからも皆さんの声をカタチにしていきます。

西依よしき
公式HP



これまでの活動報告が
ご覧いただけます。

より良い鳥栖に わくわく宣言
変化は小さな一歩から、あなたの声がまちを動かします



西依 義規 NISHIYORI YOSHIKI
1971年8月21日生 家族(妻・2女) 田代中・鳥栖高・西南学院大学商経卒
鳥栖市議会議員(3期) 趣味:サガン鳥栖応援・史跡めぐり

Please subscribe to the channel !!

西依よしきの
ワクワクとすチャンネル



各小学校区でのこどもの居場所づくりを

児童センター機能の充実に

【西依(質問)】

■児童センターを取り巻く現状と課題は。職員の配置等は適正に行われているのか。

【部長(答弁)】

■本市の児童センターにつきましては、職員は2名体制で運営に携わっており、また子育て支援センターも併設している強みを生かしながら、相互に協力しながら事業を実施されており、年々利用者が増えております。

課題といたしましては、イベント時のスペースや駐車場の混雑などがございます。

6月議会一般質問



まちづくりの主役を实践する 中央公園整備について

官民連携パークPFIも視野に 整備スキームの検討開始

【西依(質問)】

■今回の補正予算手提案されている中央公園整備事業(1650万円)を始めることとなった背景と基本計画策定業務の具体的な内容は。

【部長(答弁)】

■今回の基本計画策定業務の具体的な内容としては、まず、地元や関係団体などへのニーズ調査や、与条件等の整理を行います。

次に、中心市街地に位置する中央公園の立地特性を考慮し、官民連携を視野に入れた事業スキームの検討

を行うこととしています。

これらの検討結果を踏まえ、基本コンセプトの整理や、基本計画図の作成などを行ってまいりたいと考えています。

【西依(提案)】

■中央公園内にある小原(おはる)池の整備は、どのように考えているのか。

【部長(答弁)】

■基本計画を策定していく中で、検討をしていくこととなりますが、近年の豪雨により、中央公園付近の道路では浸水被害が発生しています。

このような状況を踏まえ、基本計画の策定に当たっては、道路浸水被害の緩和に向け、小原池の在り方についても検討してまいりたいと考えております。

子どもたちの声であふれる 中心市街地の核に

【西依(質問)】

■基本構想の「まちづくりの主役はあなたです」を实践するために、公園づくりワークショップを取り入れたらどうか。

個人的には、大型遊具の設置を望みますが、多くの方の考えを聞くべきです。

【西依(質問)】

移動児童館・子ども食堂・学習支援等で、8地区のまちづくり推進センターを活用して、こどもの居場所づくりを進めることはできないか。

【部長(答弁)】

■まず移動児童館に関しまして、本市の児童センターの事業としましては、弥生が丘まちづくり推進センターで出張児童センターの取り組みを行っております。

こども食堂や地域住民で多世代を対象としている地域食堂につきましては、市内6地区のまちづくり推進センターや一部の自治公民館で開催されており、団体数につきましては、こどもの居場所づくり団体も含めると、令和7年5月末現在で15団体ございます。

また、他のこどもの居場所としては、放課後子ども教室など、市内8地区のまちづくり推進センターを活用した居場所づくりを進めております。

トランス跡地を活用しては

【西依(質問)】

■勤労福祉会館跡地について、地区要望が出されていた運動広場も含め、こどもの居場所(児童館・広場)としての整備を検討してはどうか。

【部長(答弁)】

■ワークショップは、政策立案の過程で、住民の意見を直接反映できる機会を得ることができることから、その有用性は、十分認識いたしております。

一方で、ワークショップでは参加いただいた方のご意見だけを汲み取ることになってしまったため、年齢、性別、住所などの属性が偏ってしまうデメリットもございます。

現時点においては、利用者の幅広いご意見をいただくために、属性を事前に選択できるアンケート方式によるニーズ調査が有効だと考え、実施する予定といたしておりますが、「まちづくりの主役はあなたです」を实践するため、幅広い市民の意見をお聞きする手法については、懇話会や有識者等の意見もお聞きしながら検討してまいります。



官民連携で整備が検討される中央公園

子ども・若者の 居場所づくりの充実について

こども・若者が居場所を 持てているかの実態把握を

【西依(提案)】

■こどもの居場所づくりに関する指針では、「ふやす・つなぐ・みがく・ふりかえる」の視点が示されているが、本市では、こども・若者が居場所を持てているか等実態を把握できているか。

【部長(答弁)】

■現在本市におきましても、学校などの公的なものや、塾や習い事などの民間事業者によるもの、こども食堂や学習支援、各種スポーツクラブなど地域の皆様によるものなど様々な実施主体により様々な場所で居場所が提供されているところです。

しかしながら、全てのこども・若者が自分の居場所と実感しているかどうかにつきましては、主観的、流動的なものであり、目的によって性質が変化し得るものであることから、把握することは困難ではございますが、居場所づくりに関しましては、今後先進地の事例等を参考に調査・研究してまいりたいと考えています。

【部長(答弁)】

■大正町にございます勤労福祉会館跡地につきましては、現時点において、こどもの居場所としての整備の予定はございません。



こどもの居場所としての整備を

弥生小の空き教室の活用を

【西依(質問)】

■弥生が丘小学校の将来的な空き教室はどれくらいになるのか。また利活用について検討されているのか。こどもの居場所(児童館や中高生の学習室等)として活用してはどうか。

【教育長(答弁)】

■弥生が丘小学校の学級数につきましては、最も多かった平成28年度の38学級に比べ、令和7年5月1日現在は26学級と、12学級の減となり、将来的には、さらに減少すると見込まれます。



弥生が丘小の余裕教室の活用検討を

※令和7年9月定例会一般質問9月8日から11日まで開催されます。
ぜひ議会傍聴またはインターネット中継をご視聴ください。

